

# 進路だより

《第2号》

2021. 1. 18  
福井大学教育学部附属特別支援学校  
進路指導部



今回は、高等部現場実習、中学部の進路指導（実習見学、体験実習）の様子を中心にお伝えします。

## 高等部現場実習について(10月19日～11月6日)

今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、夏休みに十分な体験実習ができなかったため、高等部1、2年生は1週間の学校実習後の2週間、高等部3年生は3週間の現場実習をおこないました。簡単にはございますが、ご紹介させていただきます。今年の高等部生徒の実習先は以下のとおりです。\*事業所は様々な事業を行っていますが、実習は事業形態が決まっています。就労するときに決めていきます。

実習先	所在地	事業形態
社会福祉法人虹の会 うめのき	福井市	就労継続支援 B 型
ホームセンターヤスサキ ヤスサキワイホーム新保店	福井市	一般就労
(株) スタンドトゥギャザー 前進主義ふくい	福井市	就労継続支援 B 型、就労移行支援
ミスタードーナツ エルパ店、パリオ店	福井市	一般就労
福井大学業務支援室	福井市	一般就労
三国希望園	坂井市	就労継続支援 B 型
NPO 法人スマイルネットワークさかいスマイル農園	坂井市	一般就労
スワンベーカリー	福井市	就労継続支援 A 型、就労継続支援 B 型
ほのぼのハーツふくい LC コープ	福井市	就労継続支援 A 型
ハスの実パン工房	坂井市	就労継続支援 B 型
西島木材	坂井市	一般就労
ほのぼのハーツさかい	坂井市	就労継続支援 B 型、就労移行支援
つくしクラブ	坂井市	就労継続支援 B 型
社会福祉法人あおい福祉会	福井市	就労継続支援 B 型、就労移行支援
(株) きらく	福井市	就労継続支援 B 型
社会福祉法人慶長会 つづきの家	坂井市	就労継続支援 B 型、就労移行支援
社会福祉法人 かすみが丘学園 ワークかすみ	坂井市	就労継続支援 B 型、就労移行支援
社会福祉法人ハスの実の家ハスの実わくわくセンター	坂井市	生活介護
社会福祉法人足羽福祉会 足羽サポートセンター	福井市	就労継続支援 B 型
有限会社 ワークハウス	福井市	就労継続支援 A 型、就労継続支援 B 型
ピアファーム三国	坂井市	就労継続支援 B 型
社会福祉法人虹の会 虹の会福祉作業所	福井市	就労継続支援 B 型
社会福祉法人足羽福祉会 足羽ワークセンター	福井市	就労継続支援 B 型、就労移行支援

## 学校実習



(防護服たたみ)



(マスク封入)



(墨汁キャップ)



(自己理解の授業)

## 現場実習



高等部1、2年生の学校実習では、作業学習とキャリア学習をプログラムとして組み込み、実習を行ないました。作業学習では、事業所から請け負った仕事 {生活1班：防護服たたみ、袋詰め、紙管切り(つづきの家)、飴の袋詰め、宛名書き(福井精米)、生活2班：マスク封入、シール切り(つづきの家)、生活3班：墨汁キャップつけ(西端ブロー)、パック切り、パックはがし(紙と刷り班)} に取り組みました。キャリア学習については、面接練習や作業検査、アビリンピック講習、自己理解等の内容で学習を進めました。よく似たニーズをもつ生徒達と、緊張感のある中で学校実習を行うことで、現場実習への良い助走期間になったようでした。長い実習になると、様々な作業種を任せてもらえたり、事業所にも生徒の特性をつかんでもらえることで、少し挑戦的な内容にも触れさせてもらえたりするため、2年生については3週間の実習が望ましいと感じました。しかし、1年生については、今年度のような形をとり、ゆっくり助走をつけて実習に入れると良いのかもしれないと思いました。来年度以降の実習について学部で検討していきたいと考えています。

1、2年生共に、立派に2週間の実習を終えました。通勤も含め、2週間やりきったことに達成感を味わえた生徒、将来の進路先の候補に出会えた生徒、自分の課題が分かり、今後の自分の進路先や頑張るべきことが明確になった生徒など、それぞれが充実した機会となった様子でした。学校外の場所で、実習を行うことは生徒の主体的な学びを引き出すいい機会となります。この学びを次につなげていきたいです。

3年生は6名が就労アセスメントを実施しました。卒業後直接B型に進む生徒は就労アセスメントを実施する必要があります。就労アセスメント評価会議では、本人の持つ強みや弱み、本人に合う事業形態について、支援者が集まって評価をくださいます。本人にとって進路が適当であるか、今後課題としていくべきことは何かを再確認できます。直接B型に進む生徒以外にも、2名の生徒が、現在の自分に適した就労形態や自分の強み、課題を把握するためにアセスメントを行いました。結果、その生徒達にと

って最善の進路選択ができました。

生徒達一人ひとりにとって現場実習が充実したものになるよう、期間の設定や実習の事前事後学習等、検討し、実践していきます。今後とも御家庭の御支援、御協力をよろしくお願いいたします。

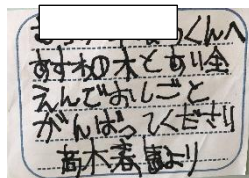
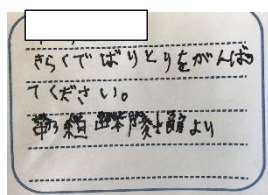
## 現場実習壮行会・見学会・報告会について

### 現場実習壮行会

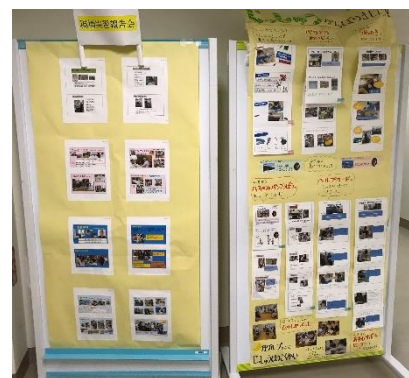
今年度はコロナ禍のため、集まることができず、体育館前の掲示板での発表になりました。まず、高等部生徒が実習先での頑張りたいことを掲示し、次に中学部生徒が激励のメッセージを掲示しました。



高等部生徒の実習のめあての掲示



中学部からの激励の手紙



体育館入り口の掲示の様子

## 中学部と高等部の交流～実習見学会・報告会～

### 中学部「星グループ」と高等部「生活1班」

#### 「星グループ」実習見学会

11月2日(月)、あわら市にある一般企業の「西島木材」と、丸岡町にある就労移行支援事業所「つづきの家」に見学に行きました。西島木材では、高等部の生徒が木材のサンダーがけを行っているところを見学し、「大変なことは何ですか？」などの質問をしました。生徒たちは、大きな木材を何回も運ぶことや、丁寧にサンダーがけをするのが大変そうだと感じた様子でした。

つづきの家では、事業所の方とペアで生地カットをしている様子を見学しました。生徒が「大事にしていることは何ですか？」と質問すると、高等部の生徒は、「困ったときには職員さんに聞く、丁寧にテキパキと仕事をする。」と答えていました。

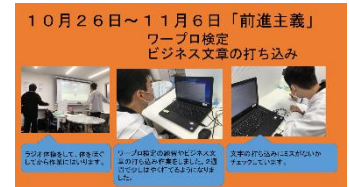
2つの職場の職員さんからは働く上で大切なことを話してもらい、「相手(お客さん)のことを考えて仕事をする事」、「家の手伝いをたくさん経験しておくこと」、「なぜ働きたいのかという目的を持つこと」の大切さを教えてもらいました。生徒たちはメモを取りながら話を聞き、星グル



ープの授業でしっかりと振り返りを行いました。

## 実習報告会

実習報告会に向け、事前に高等部生徒一人ひとりが経験した仕事内容や学んだこと、今後の学校生活や次回の実習に向けて頑張りたいことなど写真を用いながらパワーポイントを作成しました。報告会では、発表の練習時間が十分に取れず緊張した面持ちでしたが、どの生徒も前を向いてハキハキとした声で発表することができ、実習での頑張りが達成感が自信に繋がっていることが感じられました。中学部の生徒も真剣に話を聞き、「大変だった仕事は何ですか?」「楽しかったことはどんなことですか?」といった質問や、「売変」や「切り売り」など聞いたことのない言葉の意味について質問をしていました。高等部の生徒は、質問内容について事前に知らされてはいませんでしたが、その場で考え、中学部の生徒が分かるように丁寧に答えていました。合計10か所の実習報告を聞き、中学部の生徒にとっては、様々な仕事を知るだけでなく、身近な先輩が真剣に発表する姿、働く姿を写真で見ることで働くことを身近に感じられたのではないかと思います。また、高等部の生徒にとってもお互いの発表を聞くことで良い刺激になったことと思います。



## 中学部「空グループ」と高等部「生活2班」

### 「空グループ」実習見学会

空グループは、就労継続支援B型事業所「スマイル農園」と就労移行支援・就労継続支援B型事業所「ワークかすみ」に見学に行きました。「スマイル農園」は、坂井市にある事業所です。大豆茶になる大豆の選別や金属部品の検品や箱折り、農作業、マスク作りなどの仕事をしていました。金属部品のコーナーでは高等部の先輩が集中して仕事をしている様子も見てきました。

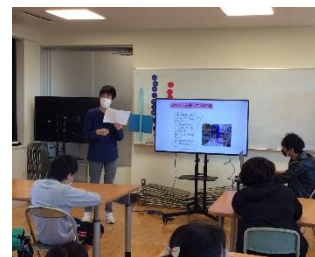
「ワークかすみ」は丸岡にある事業所です。金属部品の検品やロールカーテンの一部の組み立て、自社製品であるカレンダーやポチ袋などの製作を行っていました。金属部品の検品作業部屋には、金属が重なり合う大きな音が響き入室するのに時間がかかる生徒もいましたが、少しずつ中に入っていき仕事の様子を見ることができました。また、カレンダーなどの作業部屋では、はんこを丁寧に押している様子を見て「私もやってみたい」と思う生徒がいました。

職員さんへの質問では、休憩時間の過ごし方や通勤の仕方、困ったときの解決方法など1人1つずつ質問をしました。それに対して丁寧に答えてくださり、仕事について少しずつイメージを持つことができた見学会でした。



## 実習報告会

実習報告会では、高等部生徒からクイズを交えて実習での学びについて発表しました。自分たちが見学会で訪れた事業所のことを覚えていたようで「ここ、知ってる」「ここ、西田君」など活動がつながっている様子も見られました。発表スライドで「けんけら作り」や「生協ちらしセットセンター」の仕事の動画を見て、「こんな風で作っているのか」「スピードが速い」という声が聞こえてきました。中学部の生徒からは、「何時から何時まで働いているんですか?」「どうやって通いましたか?」などの質問も出ていたり、高等部の生徒のクイズの中ではビジネスマナーとして、言葉遣いのこと、質問や報告に課題をもった生徒の「自作のヘルプカード」の有効性を聞いたりしました。きっと中学部の生徒達はこの学びを、自分の体験実習につなげてくれるだろうと思います。自分で通勤できることはとても大切な力で、2班の生徒たちは電車に乗って通った人、バスを利用した人、自転車を使った人・・・など様々でした。決まった区間だけでも一人で公共交通機関を使えたり、自転車や徒歩で移動できたりする力は生活範囲を広げたり、就労先の選択の幅を広げてくれたりします。将来の自立に向けて中学部のうちから少しずつ身に付けていけるといいと感じました。



## 中学部「月グループ」と高等部「生活3班」

### 実習壮行会

実習が始まる前に、中学部の月グループが現場実習壮行会を開いてくれました。高等部の生活3班の生徒たちは、スライドで実習先とめあてを発表したり、中学部の生徒や先生たちからの「どんな仕事しますか?」「どんな仕事が好きですか?」という質問に答えたりしました。そして、中学部の月グループが「ほしかげのエアール」の応援ダンスをしてくれ、最後に手作りメダルを首にかけてくれました。中学部のみんなのエアールを受け、生活3班の生徒たちも「頑張るぞ!!」という気持ちが高まる時間になりました。



### 「月グループ」実習見学会

あわら市にある就労継続支援B型事業所「ハスの実のパン工房」と福井市の就労継続支援事業所「虹の会福祉作業所」に見学に行きました。ハスの実パン工房では、パンがいっぱい入った箱を運ぶ高等部の生徒が笑顔で迎えてくれました。高等部の生徒から仕事の時間やサンドイッチを作ったことなどの説明がありました。工場内でパンを作る様子をガラス越しに見学することができました。自分たちに身近な「パン」作りということで、みんな興味津々でした。買い物学習として、一人ひとりがパンを選んだりお金を払ったりする体験もできました。虹の会福祉作業所では、パックのシールはり、すきまテープやCDの袋詰め、箱折りなどの作業を見学しました。作業ごとに職員の方から、実際にどういう仕事をしているか詳しく説明を聞くこと



ができました。高等部の生徒がシールはりをする様子や実際に職員の方が箱折りなどを手本で示してくれる様子を真剣に見入っていました。

学校での事後学習では、写真で様々な仕事について振り返り、これから自分がやってみたい仕事を写真から選びました。それぞれの生徒が進路について考え、学校生活の励みとなる貴重な機会になりました。



## 実習報告会

実習報告会は、第1部「実習報告とクイズ」第2部「仕事体験」を行いました。実習報告では仕事の写真や動画を見せながら好きな仕事や頑張ったこと、休憩時間の過ごし方、お昼ごはんのことなどを紹介しました。実習クイズでは、本人しか正解を知らないのもので、中学部の生徒も高等部の生徒も正解しようと一生懸命答えを考えていました。中学部見学会で行った事業所が出てくると、見に行った中学部の生徒も、見に来てもらった高等部の生徒も嬉しそうな様子でした。



第2部の仕事体験では学校実習で行った「キャップ外し」「牛乳パック切り・パックはがし」「封筒作り」などの仕事を高等部の生徒が中学部の生徒に教えました。中学部の生徒は体験した中から一番好きな仕事を選んだり、12月に行う体験実習に向けて気持ちを高めたりすることができました。また、高等部の生徒たちは実習の頑張りをたくさんの人に聞いてもらい、拍手をもらったことで自信をつけることができました。



## 中学部のコロナ禍での進路指導

### ～進路相談会から体験実習までの道のり～

今年度の進路相談会はコロナ禍のために個別教育相談会と同日に実施しました。体験実習は例年、夏休み中に行っていましたが、事前学習を十分に行うためにも12月に実施することにしました。

ただ、12月というとコロナだけでなくインフルエンザも流行し、もしかしたら体験実習が実施できないかもしれないという不安もあったため、保護者の方には進路相談会の際に「体験実習を希望する事業所へ夏休み中に見学に行ってみませんか」とお伝えしました。すると、すべての保護者や生徒から行ってみたいと返答がありました。そこで、夏休み中に、各事業所へ伺い親子で見学やミニ体験を実施しました。短い時間での見学やミニ体験でしたが、特に2年生の生徒には12月の体験実習を迎えるまでの事前学習としてとても有効であったと思います。また、進路相談会で体験先を迷われていた方は、2～3軒の事業所に見学に行った上で体験先を決めることができました。

以下は、見学時の生徒や保護者の感想です。

#### 【生徒】

- ・シールをまっすぐ貼るのが難しかったです。
- ・おやつを作りたい。手洗いなども楽しかったです。
- ・もうちょっとタイピングの練習をしてもう少し打つのを早くできるように頑張りたいです。



#### 【保護者】

- ・店内作業や外作業など、いろいろな仕事があるので、いろいろなことを体験させていただきそうで良いと思いました。スタッフの方も優しそうな感じなので、安心してお仕事に取り組みそうだと思います。
- ・仕事は丁寧にするというのを覚えてほしいなと思いました。どの事業所も作業はよく似ているので事業所の雰囲気は大事だなと思いました。(複数見学)
- ・短時間の体験だったので、楽しかったのかと思います。実際に1日働いてみても大変だけど楽しいと思えるようになると良いです。

また、今年度は11月にグループくらしの班に分かれて高等部の先輩の実習先を見学したり、その報告会に参加したりして、「事業所ってどんなところ?」「仕事はどんなことをしているの?」「仕事に困ったことがあったらどうしたらいいの?」「休憩中はどんなふうにご経過しているの?」など様々な疑問を事業所の方や高等部の先輩たちに教えてもらいながら、12月の体験実習を迎えることとなりました。そのため例年よりも、充実した事前学習を行うことができたように感じました。

そして12月、予定通り2、3年生の生徒が各事業所で1日の体験実習を実施しました。生徒たちは、めあてをもって体験実習に臨み、それぞれの体験先で仕事の楽しさや難しさをその子なりに感じ取っていたようです。

以下は、体験実習での生徒や保護者の感想です。

#### 【生徒】

- ・ねじ入れの仕事は難しかった。アルミの数を数えるのは簡単だった。お弁当のスープがおいしかった。お仕事楽しかったです。
- ・シール貼りをしました。袋に貼りました。失敗したらいけないと思い丁寧に貼りました。
- ・箱折りは線に合わせて折るのが難しかった。



#### 【保護者】

- ・指示された作業を集中してやっていたと思います。先生のお話では、午後は眠りながらもなんとか作業を続けることができたそうですが、初めての一日お仕事体験だったのによく頑張ったと思います。たくさん褒めてあげたいと思います。
- ・袋にシールを貼るのに、失敗したらいけないと思いゆっくり貼っていましたが、慣れてくると少しずつ早くなってきていました。正確に貼るということができていました。
- ・線に合わせて箱を折るのが少し難しそうでした。慣れると少し雑になるみたいでした。家では、また仕事やってみたいと話していました。

事業所によっては、やはりコロナ禍のため短時間の実習でという要望があったところもありましたが、それでも生徒を受け入れてくださったことは本当にありがたいことでした。今年度の中学部の進路指導をどのように進めていくか、年度初めはとても悩みましたが、時期をずらして体験実習を実施できたことはとても良かったと思います。保護者の皆様もご協力くださり本当にありがとうございました。

## ちよこっと情報提供コーナー



### 移動支援について

市町村が実施している地域生活支援事業の1つです。外での移動が困難な人に対して、社会生活上、必要不可欠な外出および余暇活動等の社会参加のために外出する際の移動を支援してもらえます。



Q：利用までの流れは？

A：お住いの市町村の役所に移動支援事業利用の申請書提出  
↓  
受理されて移動支援を受けるのに適当だと判断  
↓  
事業所と契約

Q：移動支援の対象者は？

A：身体障害者手帳や療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の所持者で、一人での外出が困難な方（\*グループでも利用可能です）



Q：どんな時に利用できるの？

A：社会生活を送る上で必要不可欠な外出

…冠婚葬祭、金融機関への外出、生活必需品の買い物など

余暇活動

…スポーツ・文化活動、映画・美術館鑑賞、買い物、散歩など

ただし、通所や通学、習い事への外出は原則対象となりません。

Q：費用はどのくらいかかるの？

A：市町村によって、利用者の負担額は異なります。

（大体0円～1000円程度の自己負担）

利用時間や時間帯、身体介護のありなしなどによって、変動します。

福井市は、費用の上限は負担上限月額と同額。（ガイドラインより）

坂井市はホームページに出ています。

Q：利用例を教えてください！

A1：プール・・・自宅から施設までの送迎

※施設での移動（着替えや危険がないかの見守り）は支援の対象になりますが、「水泳の指導」や「一緒に遊ぶ」といった行為は、移動支援の対象とすることはできません。

A2：散髪、買い物・・・自宅から店までの送迎、支払いの補助や商品の読み上げ

A3：カラオケ・ボーリング・・・自宅から店までの送迎、見守りとしてカラオケルームに入ったりボーリングを見守ったりする。  
（料金については要負担）



もし興味を持たれた方は、お子さんの生活経験のためにも利用を検討してみるのもよいと思います。ただし、今、ヘルパーさんの数の不足という課題があり、移動支援を申請したのになかなか使えないという現状もあるそうです。相談から始めてみると良いかもしれません。

## 事業所紹介について

12月に開催を予定しておりました事業所見学会ですが、新型コロナウイルスの感染が拡大している状況の中、密を避けての移動、複数人数での事業所見学が困難であり、今年度は開催を中止させていただきました。今年度は皆様のアンケートでの御意見を参考にしながら事業所の取材をしてまいりました。1月下旬に「事業所紹介」という形で配布させていただきます。

## 進路に関する保護者学習会について

1月23日（土）に進路に関する保護者学習会は、新型コロナウイルスの感染が拡大している状況のためオンライン（ZOOM）で開催します。当日の資料はお子さんを通じて前日までに配布させていただきます。テスト配信は1月20日（水）17：00～17：30に行います。詳細はコドモン・メールでお知らせします。

<進路だより> 感想や御意見、御要望をお聞かせください。

学(等)部 組

---

(※匿名でも結構です)